

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称

アリルスルホン酸ナトリウム
(Sodium Allylsulfonate)

製品名

アリルスルホン酸ナトリウム

整理番号

ZC21002-01

会社名

善ケミカル株式会社

住所

東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階

電話番号

03-3839-5861

緊急時の電話番号

03-3839-5861

FAX番号

03-3839-5877

推奨用途及び使用上の制限

アクリロニトリル繊維染色性改質剤、メッキ光沢剤、コンクリートの混和剤、ポパール変性剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日

物理化学的危険性

火薬類

分類対象外

可燃性・引火性ガス

分類対象外

可燃性・引火性エアゾール

分類対象外

支燃性・酸化性ガス類

分類対象外

高压ガス

分類対象外

引火性液体

分類対象外

可燃性固体

分類できない

自己反応性化学品

分類対象外

自然発火性液体

分類対象外

自然発火性固体

区分外

自己発熱性化学品

区分外

水反応可燃性化学品

分類対象外

酸化性液体

分類対象外

酸化性固体

分類対象外

有機過酸化物

分類対象外

金属腐食性物質

分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

区分外

急性毒性(経皮)

分類できない

急性毒性(吸入:ガス)

分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気)

分類対象外

急性毒性(吸入:粉じん)

分類できない

急性毒性(吸入:ミスト)

分類対象外

皮膚腐食性・刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分1

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく)

分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく)

分類できない

環境に対する有害性

吸引性呼吸器有害性

分類できない

水生環境急性有害性

区分1

水生環境慢性有害性

区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激

H318 重篤な眼の損傷

H400 水生生物に非常に強い毒性
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

P264 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、防塵マスクを着用すること。

【応急措置】

P301+P330+P313 飲み込んだ場合、意識があれば口をすすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。
P304+P340 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
P332+P313+P363 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
P305+P351+P338+P313 眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断、手当てを受けること。
P273 環境への放出を避けること。
P391 漏出物は回収すること。

【保管】

P410+P403+P404 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に密閉して保管する。

【廃棄】

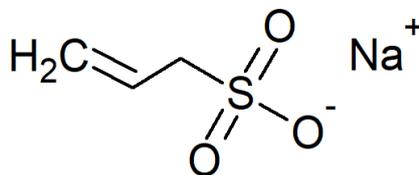
P501 内容物や容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名 アリルスルホン酸ナトリウム(Sodium Allylsulfonate)
別名 2-プロペン-1-スルホン酸ナトリウム(Sodium 2-propene-1-sulfonate)
分子式(分子量) C₃H₅NaO₃S(144.12)
化学特性(示性式又は構造式)



CAS番号 2495-39-8
官報公示整理番号

化審法(2)-1590
安衛法 公表化学物質
分類に寄与する不純物及び安定化添加物 塩化ナトリウム：1.5%以下
亜硫酸ナトリウム：0.3%以下
鉄(イオンとして)：0.003%以下
水分：3.0%以下

濃度又は濃度範囲 95.0%以上

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。呼吸が苦しうであれば酸素吸入を行うこと。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。ただちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

燃焼や高温により分解し、刺激性で有毒なガスや蒸気、ヒュームを放出することがある。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和

データなし

封じ込め及び浄化方法・機材

粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

粉塵が飛散しないように注意する。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

強酸化剤との接触を避ける。

**局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項**

粉塵やエアゾールが発生する場合には局所排気装置を使用すること。

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。

使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

**接触回避
技術的対策
混触危険物質
保管条件
容器包装材料**

皮膚、眼および衣類との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

酸化剤

直射日光を避け、換気のよい冷暗所に密閉して保管する。

ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

データなし

設備対策

作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

**呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具**

防塵マスク、簡易防塵マスク等

保護手袋

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

保護衣。状況に応じ、保護長靴

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状

固体(結晶状粉末)

色

白色～ ほとんど白色

臭い

特異臭

pH

データなし

融点・凝固点

220°C(分解)

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
比重(密度)	1.200~1.280
溶解度	水、メタノール、エタノール、ジメチルホルムアミド: 可溶 ジメチルスルホキシド: 微溶
オクタノール・水分係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし
10. 安定性及び反応性	
安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	高温と直射日光、混触危険物質との接触
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素, 一酸化炭素, 硫酸化物等
11. 有害性情報	
急性毒性 経口	LD50: > 12300 mg/kg (Rat)のデータがあり、区分外と判定した。
経皮	データなし
吸入	データなし
皮膚腐食性・刺激性	詳細なデータはないが、皮膚刺激性があるとの報告があり、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	詳細なデータはないが、重篤な眼の損傷を生じうるとの報告があり、区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
12. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	EC50: 500 mg/L 72 h (緑藻類: セネデスムス) LC50: 4600 mg/L 96 h (魚類: ゼブラフィッシュ) EC50: 500 mg/L 48 h (甲殻類: オオミジンコ) のデータから区分1とした。
水生環境慢性有害性 残留性/分解性	詳細なデータはないが、急性毒性が大きく、かつ難分解性であるので区分1とした。 既存化学物質安全性点検によると 42 % (by BOD) , 10 % (by TOC) , 3 % (by HPLC)であり、その結果 難分解性 と判定した。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	地方条例や国内規制に従う。 焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
14. 輸送上の注意	
国際規制 海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
国内規制 陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
特別安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。
緊急時応急措置指針番号	
15. 適用法令	
消防法	非該当

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法(危規則)	非該当
航空法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	非該当

16. その他の情報

参考文献

MATERIAL SAFETY DATA SHEET-Sodium Allyl Sulfonate 寿光市松川工業助剤有限公司 2020/12/20改訂版
安全データシート-Sodium Allylsulfonate 東京化成工業株式会社, 2018/10/3改訂版
安全データシート-アリルスルホン酸ナトリウム 富士フィルム和光純薬株式会社, 2018/6/12改訂版
Website "PubChem"(2021/2/19)
17019の化学商品 化学工業日報社(2019年度版)

記載内容の取り扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴

2021.2.24 作成